

自動認識の世界をより身近に

Flags

vol.97 2013-06

『医療用医薬品への可変情報表示検討セミナー』 講演内容のご紹介(続編)と 第2回ワイヤレスM2M展 開催レポート

前2号にわたり今年3月に開催した弊社プライベートセミナー「医療用医薬品への可変情報表示についての検討」をお伝えしてきましたが、前月号でご報告しきれなかった「CSV対応システム」について続編としてご紹介いたします。また、5月8日から3日間開催されたワイヤレスM2M展の開催状況などをお知らせいたします。

第4部 コンピュータ化適正管理ガイドライン 対応システムのご提案

① CSV対応『元梱ラベル発行システム』

この製品は、医薬品業界で多くの実績があるGS1に認定されたラベル発行ソフト『BarTender』をベースに開発した“元梱ラベル発行用”のパッケージソフトです。

“GTINへの対応”、“ラベルレイアウトの追加”、“既存ラベルのレイアウト変更”、“バーコードの作成・変更”などがユーザサイドで大変簡単に行えます。

既存システムの製品マスタとの連携により、製品コードを選択するだけで自動的に適切なラベルの選択発行を可能とする機能も装備しています。

その他の特長：

- ・GTINの自動生成
(JANコードと梱包インジケータを使用)
- ・発行履歴の保存
- ・医療機器表示のガイドラインに適合

型式: B-BDVS シリーズ

正常なバーコード

バーコードデータ検証が可能
印字されたバーコードのデータが正しいか検証できます(データ照合機能)

ボイド印刷が可能
ソフト制御なので、エラーの際ボイド印刷が可能

コンパクトな設計ですっきり
プリンタのカバーなどに巻付け取り付けられるため、コンパクトですっきり

バックフィード & ボイド印字

ボイド印刷が可能
写真はプリンタとの組み合わせ

② GS1 バーコード照合機 『GS1-チェッカー』

GS1-チェッカーは、新バーコード表示で規定される“GS1-Databar”、“GS1-合成シンボル”、“GS1-128”の印字データ内容がガイドラインで定義されたデータフォーマットと合致しているかを、バーコードを読ませるだけで誰でも簡単にチェックが可能です。

ガイドラインと異なった印字内容の場合はエラー警告だけでなく不適合となった理由が表示されるので、誤ったバーコード表示の市場流通を事前に防止することが可能です。

GS1-チェッカーは、タッチパネル式大型カラー液晶のハンディターミナルを採用しているため持ち運びが容易であり、受入れ検品場、生産現場、品質保証室など、現場を選ばずその場で現品チェックが可能です。

本製品は、「1対1照合」、「1対多照合」などの付属機能があり、包装資材のセットミスや梱包時の異品種混入などのチェックシステムとしても現場で

TBR-6020D



作業実績収集システム “WM(Work Management)ステーション”

作業実績情報はICカードとタッチパネル端末により、現場で作業員自身がかんたんに登録。作業開始と終了時にカードをかざしてタッチするだけで、日報記入など作業員の負担無く、正確な記録が残せます。

貴重されております。

GS1バーコードのチェック結果や付属機能の照合実績は、CSV形式データでパソコンへ転送ができ、さらにオプションの携帯プリンタを利用すればレポート印刷も場所を選ばず出力することが可能となります。

間違っただ理由が表示されます。

コードの最後にGS1は必要ありません

続取データ 桁数 38 桁
0124512345678901170708203712
<GS>10123456<GS>

商品コード(01) 24512345678901 元梱
有効期限(17) 数量(30) 070820 12
製造番号 (10) 123456

GS1-128(EAN128) RSS/GS1

バーコードデータは、見やすくAIの項目毎に表示されます。

MTSのソリューション・パッケージ
『GS1-チェッカー』

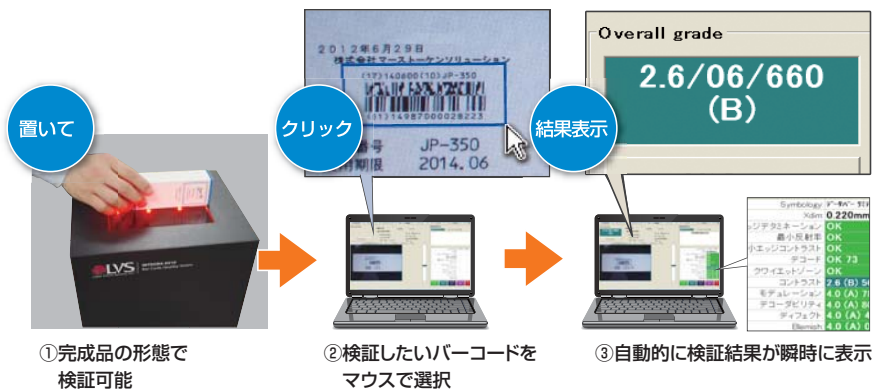
③GS1 バーコード検証器『Integra 9510-5』

バーコード検証器『Integra 9510-5』は、ISO（国際標準規格）の規格をクリアした品質でバーコードが印刷されているかを厳密に検証します。

本製品は、たったの2アクションで簡単にバーコードの検証が行えます。

パソコン接続時のメニューやメッセージは完全に日本語化されており、誰にでもより簡単な操作を可能にした検証器です。PCのプレビュー画面の表示だけで、検証結果の確認が行えます。

また、バーコードに印字劣化が認められた場合は、判定結果の表示に加えて、検証項目一つ一つを解析し、実際に印字劣化と判定されたポイントに至るまでの詳細な状況が確認可能です。



GS1バーコード検証器『Integra 9510-5』

Integra9510は、カメラタイプの検証機なので2次元コード含む全てのバーコードが検証できます。



自動認識技術のエキスパートとしてお客様のお役に立ちたくソリューションのご提案をさせていただいておりますので、業務改善・効率化に向けてのご不明点、ご興味あるシステム等ございましたら弊社営業担当までお気軽にお問い合わせください。

第2回ワイヤレスM2M展 RFIDソリューションゾーン出展のご報告

5月8日～10日の3日間、東京ビッグサイトにてJapan IT Week (リード エグジビジョン ジャパン社主催) が開催されました。

会期中は天候にも恵まれ85,000人の来場者と1,400社の出展となり、弊社ブースにも多くのお客様のご来場を賜り盛況のうちに終了する事が出来ました。

弊社のブースにおいては、昨年同様「自動認識システム総合メーカー」として多様な製品とソリューションの展示をさせて頂きましたが、中でも次の2つのコーナーが今年圧倒的な注目を集めておりました。

一つは、「新周波数帯UHF帯 高出力ハンディターミナル」で、工具類のドライバやスパナなどに“超小型金属対応UHFタグ”を取り付けて、一括読み取りで工具管理ができるデモンストレーションには常に大勢の方が集まり人気を博していました。

もう一つは、作業員ICカードを利用した「簡単作業実績収集パッケージ WMステーション」のコーナーでした。

作業の実績を手書きで集計している現場は予想以上に多く、“作業実績の収集に機能を特化している”、“コストパフォーマンスが非常に良い”という点などが現場ニーズに合致し、沢山の高いご評価をいただくことができました。

ご来場いただきましたお客様には私共のブースにお立ち寄り下さり、誠にありがとうございました。

*『医療用医薬品への変表示検討セミナー』講演内容のご紹介(前編・後編)については、フラッグス・バックナンバーの95号・96号をご参照ください。



M2M展弊社ブースの様子

次号予告

2013年7月号は・・・

『事業継続計画「BCP」って何?』
をご紹介します。

Flags 7月号は 7月 8日発行です。

都合により内容が変更になる場合がありますので、予めご了承下さい。
バックナンバーは当社ホームページに掲載しております。

Flags / フラッグス

2013年6月号 Vol.97 2013年6月7日発行

編集・発行 株式会社マーストケンソリューション

編集事務局:03(3352)8545



UHF帯高出力
ハンディターミナル
IU-9061



工具管理デモ



作業実績収集システム
WMステーション

本誌に掲載の記事・写真・図版などは著作権法によって保護されており、無断で転用・転載・複製することはできません。

営業三部	東京都新宿区新宿1-8-5	新宿御苑室町ビル
	Tel:03(3352)8522	Fax:03(3352)8579
名古屋営業所	Tel:052(565)9091	Fax:052(565)9094
大阪営業所	Tel:06(6353)5476	Fax:06(6353)6125
福岡営業所	Tel:092(441)3638	Fax:092(441)3639
日立営業所	Tel:029(276)9555	Fax:029(276)9556